



本物力こそ桑名力

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 方向性の整理について

平成27年7月28日

事務局 市長公室政策経営課

第1回桑名市地方創生会議 戦略策定の方向性の整理



本物力こそ桑名力

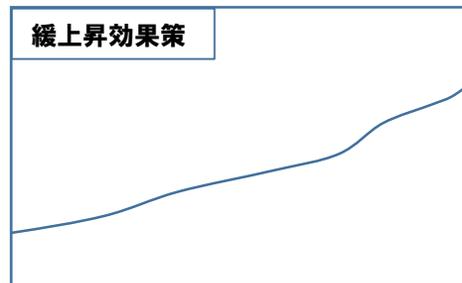
第1回会議で、桑名市の強み・弱みなどを踏まえて、桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の方向性が示されました。

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性

- 全国の都道府県、市町村の総合戦略は、「幅広い分野を包括」し、「同じような戦略」を示す傾向であるが、桑名市総合戦略は、**政策を絞り込んだ戦略**としていきたい。
- 今までの政策を新しい総合計画に沿って見直し、桑名市の持つ可能性を伸ばし、強みを活かす戦略としていきたい。

長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策

- 桑名の「住みやすさ」を足元から見直し、日々の生活や活動・労働をしていく上で快適なまち、つまり「暮らしたい」まちに選ばれる桑名市にしていく。
- ・市が持つ魅力や価値、本物を見つけ出し、磨き上げ、大きくし、桑名をより魅力あふれるまちにしていく。



短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策

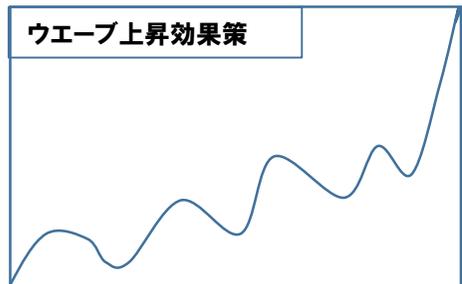
- 人口減少の問題は日本国内の地域の問題であるため、定住人口や地域間移動等の地域間で人を取り合うという考えではなく、海外に目を向け、海外からの誘客に目を向ける。

【桑名市の可能性や伸びしろ】

- ・外国人観光客を誘致することで、地域経済活性化と雇用の維持・創出が期待されるが、桑名市はまだ観光客を受け入れる環境が十分ではない。
- ・桑名市は県内有数の観光都市であるものの、海外からの観光客は少ない。

【桑名市の強みを活かす】

- ・地理的優位性や大型レジャー施設がある強みを活かす。



第1回桑名市地方創生会議 戦略策定の方向性の整理

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性にそって、第1回会議の委員の皆さまのご意見を整理してみました。

桑名市の強み

- ・高速道路、JR、近鉄、バスなどの交通機関が充実している。
- ・名古屋からの日帰り観光地としてはベストな距離感である。
- ・他県から桑名市内の仕事を探している人が多い。
- ・名古屋圏のベットタウンとしての安定した需要がある。

桑名市の弱み

- ・交通案内表示等が観光客に判りにくいのではないかな。
- ・桑名駅前の利用について、もっと工夫できるのではないかな。
- ・桑名には色々な仕事があるにも関わらず、地元中小企業への人材提供が十分ではないのではないかな。
- ・農業の産業化の可能性がひきだせていないのではないかな。

桑名市まち・ひと・しごと総合戦略の方向性による整理

長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策

- ・桑名市にしかない伝統の仕事、魅力ある仕事を創る。
- ・UJIターンの対象となる街にする。
- ・住宅都市(ベットタウン)としての機能を高める。
- ・子どもの学力が高く子育てしやすいまちにする。
- ・市民が関わりやすい産業(働き方の多様性)を考える。
- ・価値があるものがつくられる産業や農業を考える。

短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策

- ・観光客が一目でわかる交通案内表示を設置する。
- ・名古屋には無いものを発掘する。
- ・名古屋からでも来たくなるようなものを造る。
- ・桑名駅を桑名市の魅力をアピールできる玄関口にする。
- ・伝統文化をアピールし、来訪者を増やす。
- ・首都圏をはじめ(国内)遠隔地の人が桑名に求めることを知り、呼び込みに活かしていく。

平成27年度実施事業との整合について



本物力こそ桑名力

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけていく、今年度、先行的に実施されている事業について、方向性との整合について整理しました。

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成27年度実施事業とは・・・。

国

【平成26年度】

- まち・ひと・しごと総合戦略、まち・ひと・しごと創生長期ビジョンが閣議決定された。
- 地方へ好循環拡大に向けた緊急経済対策（地域住民生活等緊急支援のための交付金）

桑名市

【平成26年度】

- 平成27年度分については、国が平成26年度緊急経済対策という目的で交付金を地方に支出したため、平成26年度補正予算で計上することとなった。
- 平成26年度補正予算として予算化し、平成27年度へ全額繰越をし、事業を執行している。

総合戦略の計画期間及び予算について

平成26年度

平成27年度

平成28年度

平成29年度

平成30年度

平成31年度

総合戦略の計画期間

先行型として

平成26年度補正予算
・交付金 56,976 千円
・事業費 70,658 千円

(前倒し)

平成27年度分

平成28年度分

平成29年度分

平成30年度分

平成31年度分

平成27年度へ全額繰越

平成27年度実施事業との整合について



本物力こそ桑名力

桑名市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 平成27年度実施事業

全員参加型プラットフォーム 推進事業

市のホームページに地域の課題やまちの情報を載せ、意見交換など市民参加の場の構築を行う。

ブランド推進事業

ブランド化の視点を取り入れ、付加価値を高め、都市イメージを向上させる取組(イベント等)を行う。

情報政策事業

市の持っている各種情報をインターネット上に開示し利用してもらう機能等の構築を行う。

子ども職業体験事業

地場産業等をPRし、将来の職業選択の一助となるよう子どもたちの職業体験を行う事業

観光PR等推進事業

日本語・外国語版観光パンフレット作成他、プロモーションツールを作成するなどの観光誘致事業

多度山観光PR事業

パンフレット作成等を行い、ハイキングに訪れる観光客等に多度山の魅力をPRする。

消防団活動事業

地域の担い手である消防団の装備品を充実させ安全性を確保し、団員の入団を促進する。

緊急情報伝達事業

桑名市災害時緊急メールと全国瞬時警報システムを連動させ、災害時の情報伝達機能を構築する。

小学校英語活動事業

小学校における英語の音声指導の充実等により、国際感覚を身に付け、積極的なコミュニケーションの素地を養う事業

ふるさと発信力育成事業

友好都市(白河市・行田市)の中学生による地元のまちや文化を紹介しあうサミットを開催する事業

桑名力再発見研究事業

桑名にゆかりのある偉人についての児童用資料を作成し、歴史の中の桑名等の理解を深める事業

桑名力発信推進事業

「桑名の千羽鶴」の理解を深め、桑名の匠の技を世界をはじめ広く発信していく事業

資料保存事業

貴重な桑名の千羽鶴の原典の修理・保存を行うとともに、桑名城に関する展覧会等を行い、桑名をPRする事業

スポーツ大会等運営事業

東京オリンピック事前キャンプ誘致活動に取り組む事業

地方版総合戦略 策定事業

平成27年度実施事業との整合について

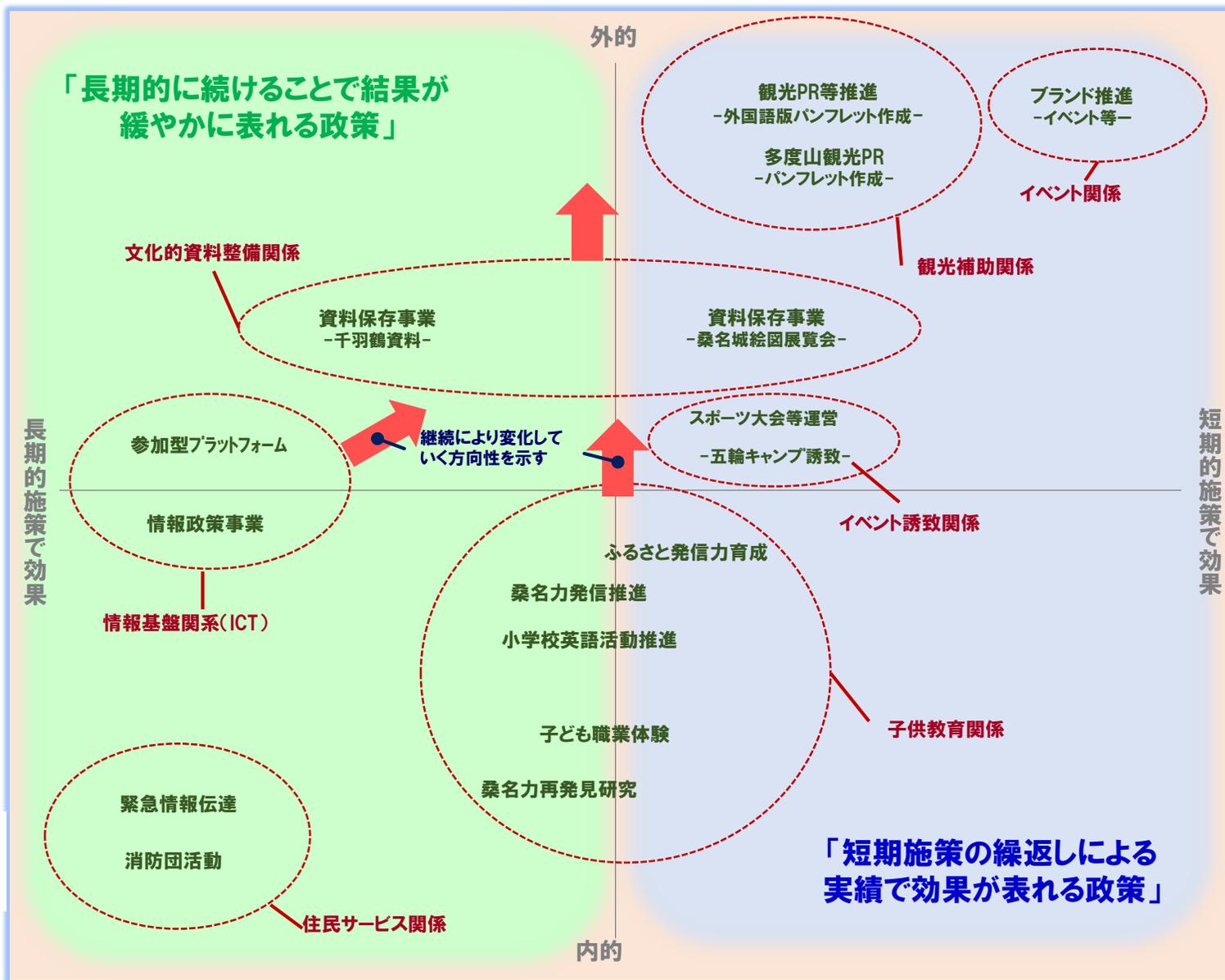
平成27年度の桑名市の地方創生に関する実施事業と、桑名市まち・ひと・しごと総合戦略の方向性との整合を右図にしました。

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性の政策

- 長期的に続けることで結果が緩やかに表れる政策
- 短期的施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策

桑名市まち・ひと・しごと総合戦略に位置付ける平成27年度実施事業

整合はとれており
バランスよく配置されている。



桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標について

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「方向性の政策」、「第1回地方創生会議での意見」、「平成27年度実施事業」を整理し、総合戦略の基本目標について導き出したい。

長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策

【第1回会議での意見】

- ・桑名市にしかない伝統の仕事、魅力ある仕事を創る。
- ・UJIターンの対象となる街にする。
- ・住宅都市(ベットタウン)としての機能を高める。
- ・子どもの学力が高く子育てしやすいまちにする。
- ・市民が関わりやすい産業(働き方の多様性)を考える。
- ・価値があるものがつくられる産業や農業を考える。

【桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略における平成27年度実施事業】

- ・参加型プラットフォーム推進事業
- ・情報政策事業
- ・緊急情報伝達事業
- ・消防団活動事業
- ・資料保存事業 etc.

短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策

【第1回会議での意見】

- ・観光客が一目でわかる交通案内表示を設置する。
- ・名古屋には無いものを発掘する。
- ・名古屋からでも来たくなるようなものを造る。
- ・桑名駅を桑名市の魅力をアピールできる玄関口にする。
- ・伝統文化をアピールし、来訪者を増やす。
- ・首都圏をはじめ(国内)遠隔地の人が桑名に求めることを知り呼び込みに活かしていく。

【桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略における平成27年度実施事業】

- ・ブランド推進事業
- ・観光PR等推進事業 -外国版パンフレット他
- ・多度山観光PR事業
- ・スポーツ大会等運営 -五輪キャンプ誘致etc.

[新たな視点] 2016伊勢志摩サミット
2020東京オリンピック・パラリンピック

暮らす

基本目標

インバウンド

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概略について

- 桑名市の人口動向や地域の実情に応じた、まち・ひと・しごと創生に関する目標や施策の方向、具体的な施策をまとめる。
- 対象期間は、平成27年度から平成31年度までの5ヶ年計画とする。

はじめに

- 総合戦略について
桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけについて
- 桑名市人口ビジョンを受けて
桑名市の人口現状と課題について

I. 基本的な視点

- 桑名市独自の視点
国や県の基本的な視点をふまえ、桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する際の桑名市独自の視点を記載する。

視点①

長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策

視点②

短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策

II. 基本的な考え方

- 戦略の策定について
- 基本目標の設定と施策の推進・検証の枠組み
- 戦略のフォローアップ

III. 今後の施策の方向

(1)基本目標

本市の視点に基づき戦略の基本目標と数値目標を設定する。

●暮らす

(数値目標)

●インバウンド

(数値目標)

(2)基本的な方向性

基本目標を達成するために、どのような政策を推進していくのか。
政策を推進していくための基本的な方向性を示す。

暮らす

- 「安心して住み続けたいまち」を創生する。
- 「選ばれるまち」を創生する。
- 「働けるまち」を創生する。

インバウンド

- 「魅力あるまち」を創生する。
- 「魅了するまち」を創生する。
- 「情報を発信するまち」を創生する。
- 「国際力のあるまち」を創生する。

例

(3)具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

計画期間(5年間)のうちに実施する施策を示す。
5年後の基本目標を設定し、客観的な指標(KPI)を設定する。

※ 総合計画の中から、『暮らす』『インバウンド』に関する事業を中心に位置付ける。

総合戦略の策定スケジュールについて

策定については、部長会議出席者で構成する「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部会議（庁内会議）」と、その会議の翌週に開催予定の「地方創生会議（有識者会議）」で審議・検討し、三重大学と連携しながら策定を進める。

日時	会議	会議内容	
平成27年7月21日	第2回推進本部会議	桑名市の人口分析	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性の整理について
平成27年7月28日	第2回地方創生会議	桑名市の人口分析	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性の整理について

 第1回、第2回の会議を受け、示された方向性に基づき「桑名市人口ビジョン(案)」「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」を作成し第3回の会議に諮ります。

平成27年8月18日	第3回推進本部会議	桑名市人口ビジョン(案)	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)
平成27年8月24日	第3回地方創生会議	桑名市人口ビジョン(案)	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

 パブリックコメントの意見及び議会の報告を受けて最終案として第4回の会議で報告します。

平成27年10月20日	第4回推進本部会議	桑名市人口ビジョン(最終案)	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(最終案)
平成27年10月28日	第4回地方創生会議	桑名市人口ビジョン(最終案)	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略(最終案)

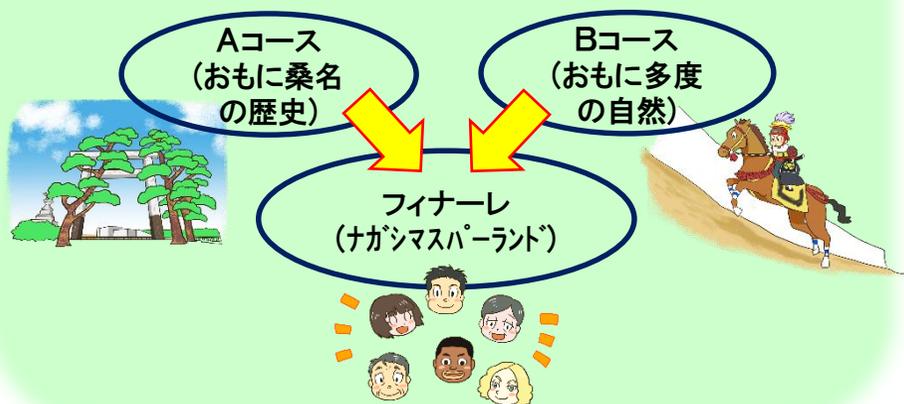
完 成

策定した『桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づき、来年度以降の事業を計画

平成27年7月5日(日) 10:00~19:30

桑名市国際交流キックオフイベント「桑名力探検隊」

外国人留学生(約80人)が桑名市の歴史・文化・産業・自然などの観光スポットを巡り、探検・体験し、海外に情報を発信



桑名市の魅力向上(暮らす)

⇒外国人という外部の視点から見た桑名市について「気づき」と「認識」

海外へ桑名の魅力発信(インバウンド)

⇒外国人から見た桑名の感想をSNS (Facebookなど) に書き込み、海外へ発信

★桑名力探検隊(留学生)が印象に残ったこと。

- ・六華苑で桑名の千羽鶴体験をした。日本(桑名)の文化体験としていい経験だった。
- ・六華苑の日本庭園にすごく感動した。
- ・春日神社の灯笼が魅力的でした。ハートの石灯笼はかわいい。
- ・石取会館で見た石取祭の祭車は華やかで一番印象に残った。
- ・寺町商店街の人はみんな親切で、商品の説明を詳しくしてくれた。英語で説明してくれたおばあちゃんが大好きです。
- ・多度の大黒屋旅の資料館では、家の中にある日本庭園に感動しました。鯉が泳いでいる池が印象的でした。外国ではないと思います。
- ・多度大社に白馬がいたことが興味深かった。上げ馬祭も見に行きたいと思いました。
- ・輪中の郷で海苔すきを体験した。海苔は食べたことはあったけど、海苔の作り方は今回の体験で分かってよかった。
- ・ナガシマスパーランドは、施設環境が良く、きれいでした。アトラクションもたくさんの中から選べるので楽しかったです。



★桑名力探検隊(留学生)がよくないと思ったこと。

- ・庭園等にベンチが少なかった。
- ・木が少ないように感じた。暑いときは木陰がほしいと思います。
- ・観光スポットの説明看板や案内看板が少なかった。
- ・施設の説明や、施設に関わるお祭りなどの情報をもっと欲しかった。
- ・色々と体験したかった。自ら体験できる施設が多くあると良いと思った。
- ・ごみ箱がないところがあり、不便を感じた。
- ・英語での説明等、外国人向けの説明がない場所があった。



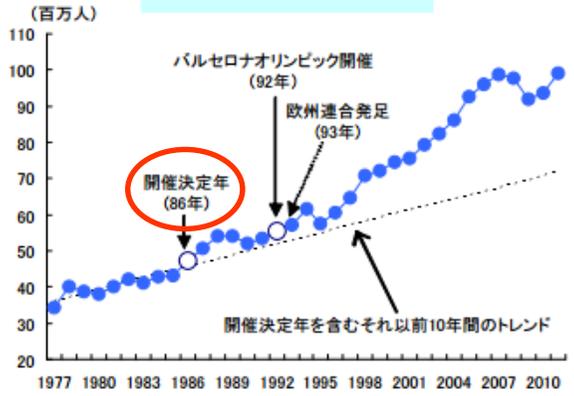
★外国人から見た桑名市の魅力、強み、課題を認識



本物力こそ桑名力

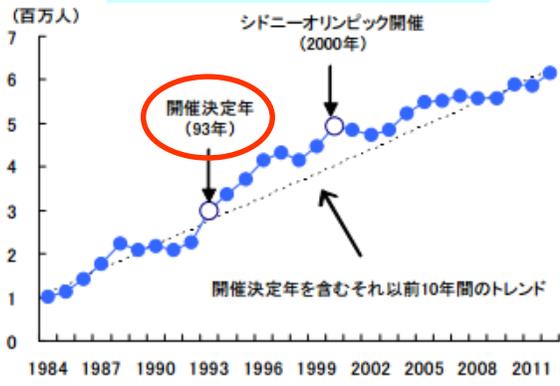
- オリンピック・パラリンピックにおけるインバウンド観光客の傾向は、実際の開催年だけではなく、開催決定後すぐに増加し、長期間に渡って上昇しながら増減を繰り返す。
- 「2020東京オリンピック」が決定した直後の現在が大きなチャンスである。

スペイン(1992)



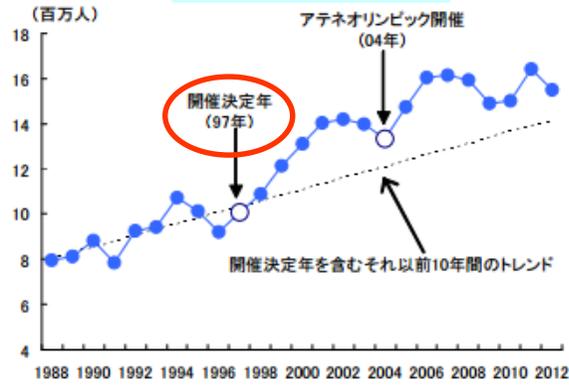
(注)スペインを訪問した外国人数(日帰り客を含む)。
(資料)Venancio Bote Gómez (1994), Instituto de Estudios Turísticos等

オーストラリア(2000)



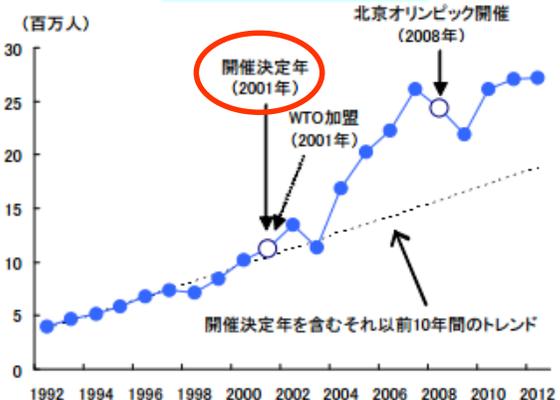
(注)1年以内の滞在を目的とした外国人到着数。
(資料)Australian Bureau of Statistics

ギリシャ(2004)



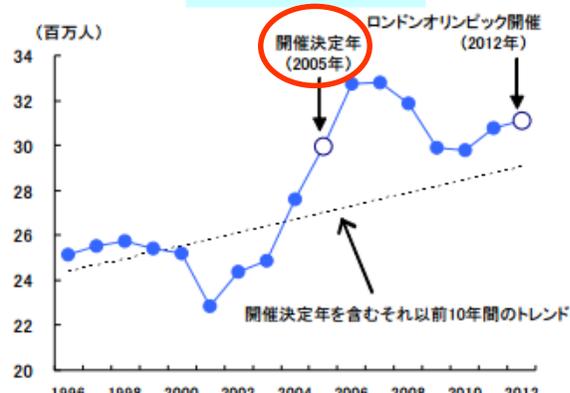
(注)ギリシャを訪問した外国人到着数。
(資料)Greek National Tourism Organization, National Statistical Service of Greece, World Bank

中国(2008)



(注)中国への外国人到着数(香港、マカオ、台湾人を除く)。
(資料)国家旅游局

英国(2012)



(注)英国を訪問した外国人の総数(日帰り客を含む)。
(資料)Office for National Statistics

出典:みずほ総合研究所



- 平成28年の主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)が、5月26日、27日に志摩市で開催されることが決定しました。
- 経済効果は、全国で510億円、三重県は130億円となると考えられる。
- 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、『インバウンド』に関する基本目標を掲げ、桑名市としても積極的に関わっていく。



経済効果「510億円」

三重県志摩市で開催が決まった2016年の主要国首脳会議(サミット)の経済波及効果は、県内だけで約130億円の試算を、地元が6日までにまとめた。観光資源が豊富な地元では、効果を最大限に生かそうと早くも期待が高まっている。

510億円の試算の主な内訳は、宿泊費や飲食費が74億円、運営費や観光案内費が50億円。ほかに物品購入費33億円、情報通信費25億円、建設関連費20億円などとなっている。

平成27年6月7日伊勢新聞より

伊勢志摩サミット 観光の中部売り込め

来年度、夏に開かれる主要国首脳会議(サミット)の開催地が三重県志摩市に決まり、観光に力を入れ始めた中部地方の知名度が上がる絶好の機会となりそうだ。安全な観光地として認知され、外国人観光客の増加が見込まれる。副次的な効果はかなり大きいだろう。ただ、外国人の受入れ体制は一年かけて準備しなければならない。

平成27年6月6日中日新聞より